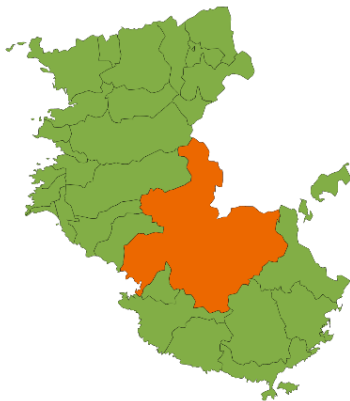


# 和歌山県田辺市龍神村地域

## 「林業×地域」の再発見： 森林・林業を活かした地域将来ビジョンづくり



### 【地域の基礎データ】

人口：68,844 人（令和3年10月1日現在）

高齢化率：33.2%（令和3年1月1日現在）

産業：農林業、漁業 など

### 【活動の基本情報】

参加学生数：3名（1回生：2名、3回生：1名）

活動期間：令和3年5月～

担当教員：大浦由美

### 1. 活動実施の経緯

田辺市龍神村地域は、和歌山県下でも有数の林業地として知られているが、田辺市との合併以降、人口流出が続いており、高齢化も進行している。本地域の維持・発展のためには、地域随一の資源である森林資源の活用は不可欠である。そこで、林業だけでなく、より多様な林産物や森林空間の活用等を含めて現場に学び、「森林・林業を活かした地域将来ビジョン」の作成とその実現方策の検討・提案を目指して活動を開始した。

### 2. 活動の内容

- (1) 林業・特用林産物に関する事前学習（8/27・ハイブリッド開催）
  - ・和歌山県および龍神村の森林・林業・木材産業（県庁林業振興課・大澤一岳氏）
  - ・和歌山県の特用林産物（県林業試験場・坂口和昭氏）
- (2) 現地視察およびヒアリング（12/4～5, 11）
  - ・木材生産の流れを知る：龍神村森林組合→原木市場→製材所→木質バイオマスボイラー
  - ・林業を知る（龍神村）：安全対策とチェーンソー基礎講座，間伐見学，植林地見学
  - ・特用林産物を知る：シイタケ原木栽培（伊藤泰造氏）→シイタケ菌床栽培（龍神マッシュユ）→花木栽培（森林工房・大江俊平氏）
- (3) 資源地図の作成（1/9）＊次頁参照
- (4) 現地報告会（2/20・オンライン開催）

### 3. 活動を通じて

当初の計画では、資源地図を踏まえて地元関係者とのワークショップを行い、地域将来ビジョンの作成を目標としていたが、今年度は到達できなかった。次年度は、「龍の里づくり委員会」の取り組みなど、より幅広い地域づくり活動にも視野を広げ、ビジョンづくりに繋げたい。

#### 4. 成果物（ポスター）

2021年度 龍神LIP 岡田・栗川・小西・築地

## 「林業×地域」の再発見

～森林・林業を活かした地域将来ビジョンづくり～

今年度に発足したばかりの龍神 LIP は、1年生2人と3年生2人に加え、大浦ゼミ3年生からの参加者2人の、計6人で活動しています！

古くから林業が盛んな龍神村（田辺市）で、森林を活かした「地域将来ビジョン」を地域の方々と共に考え、住民の皆さんに提案していきます。

今年度は、龍神村や和歌山県の林業、特産林産物について事前学習をしたうえで、実際にその現場で見学や体験を行いました。



### 現地学習と資源地図作成

現地学習後のワークショップでは、各メンバーが20枚程度の写真を持ち寄り、龍神村でピンときた点を話し合いました。持ち寄った写真は、1枚ずつコンセプトなどを説明しながら、意味が似ているものをグループにしています。そこから、グループ間の相関関係を記号にして書き出し、龍神村の魅力や課題を可視化した「資源地図」を作成しました。

資源地図のタイトルは、「龍神ブランドの確立～人々の愛と森林の恵みを受けて～」です。龍神村には、豊富な木材資源やシイタケ・榎などの特産林産物があります。しかし、それらは単なる自然の恵みではなく、そこに人の愛情やこだわりが詰まって「龍神ブランド」を形成していると、私たち LIP メンバーは感じました。



2月20日のワークショップでは、この資源地図をもとに地域の方々と話し合いながら、龍神村の「地域将来ビジョン」を検討していきます。